

(事業着手後10年経過、着手後5年間未着手、**再評価後5年経過**、社会情勢の急激な変化)

評価確定日	平成 年 月 日
所管部課名	農林水産部 森林整備課

地区名	事業の概要	1 必要性の観点			2 事業進捗の見込みの観点																																																																										
		事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	事業の投資効果																																																																											
<p>[路線名] 五秋蛇喰線</p> <p>[所在地] 南秋田郡井川町井内～南秋田郡五城目町馬場目</p>	<p>[事業の目的] 井川町と五城目町の森林地帯を結ぶ骨格的な林道であり、森林の適切な維持管理と林業生産活動を促進し、更には山村の活性化にも重要な役割を果たす路線として開設する。</p> <p>[総合計画上の位置付け] 「あきた21総合計画 第2期」 ○施策名 豊富な森林資源の循環利用による林業の推進 ○施策目標 効率的な森林整備の推進 ○施策内容 林道・基幹作業道等路網の整備 密度：6.6m/ha(後期：H15～H17)</p> <p>[事業の内容] ○森林管理道開設</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>H10再評価時</th> <th>今回評価時</th> <th>差</th> </tr> <tr> <td>延長</td> <td>11.4km</td> <td>11.4km</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>幅員</td> <td>4.0m</td> <td>4.0m</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>1,560百万円</td> <td>1,900百万円</td> <td>増 340百万円</td> </tr> <tr> <td>事業期間</td> <td>H3～H17</td> <td>H3～H20</td> <td>3年間延長</td> </tr> </table>	項目	H10再評価時	今回評価時	差	延長	11.4km	11.4km	0	幅員	4.0m	4.0m	0	事業費	1,560百万円	1,900百万円	増 340百万円	事業期間	H3～H17	H3～H20	3年間延長	<p>[事業の経緯] H3 事業採択 H3～H9 再評価時 4,308m 691百万円 H10 700m 130 // H11 437m 100 // H12 623m 170 // H13 257m 110 // H14 257m 110 // H15 100m 90 // 計 6,682m 1,401百万円</p> <p>[進捗状況] ○投資済事業費 H10再評価時 691百万円 (44.3%) H15未見込み 1,401百万円 (73.7%)</p> <p>○完成延長 H10再評価時 4,308m (37.7%) H15未見込み 6,682m (58.4%)</p> <p>[次年度以降計画] 残事業量 4,758m 499百万円</p> <p>[長期継続の理由] 全体事業費と地元負担の対応等を考慮して事業期間を見込んでいたが、予算の制約に加え、これまでの工事区間に硬質な岩が出現した事などから期間を要している。</p>	<p>[社会経済情勢の変化] ○地球温暖化防止森林吸収源対策として、これまで以上の森林の適切な整備が望まれている。 ○平成15年3月に「水と緑の条例」及び「秋田の農林水産業と農山漁村を元気づける条例」が制定され、多様な森林づくりの基盤として不可欠な林道の計画的な推進が重要となっている。</p> <p>○森林資源の変化</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>面積ha</th> <th>蓄積 m³</th> </tr> <tr> <td>前回評価時</td> <td>942</td> <td>149,304</td> </tr> <tr> <td>今回評価時</td> <td>942</td> <td>156,202</td> </tr> <tr> <td>差</td> <td>0</td> <td>6,898</td> </tr> </table> <p>蓄積：森林資源の成熟による増</p> <p>[地元の意向] ○適切な森林整備の基盤のみならず、広域的な利活用にも重要な役割を果たす路線であり、早期完成を望んでいる。</p> <p>[環境対策] ○法面保護のため、吹付工のみでなく間伐材等を利用したユニット丸太を設置するなど、環境に配慮している。 ○猛禽類については、現在確認されていないが、飛来確認・情報入手に留意し、確認された場合には「猛禽類保護の進め方 (H8環境庁)」に沿い、適切な方策を図る。</p>		面積ha	蓄積 m³	前回評価時	942	149,304	今回評価時	942	156,202	差	0	6,898	<p>[整備効果] ○当該路線の開設に伴い、利用区域内の間伐等が実施され、森林の整備・保全に寄与している。 利用区域内施業実績</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>主伐</th> <th>間伐</th> <th>植栽</th> <th>下刈等</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>H10</td> <td>3</td> <td>29</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>H11</td> <td>9</td> <td>5</td> <td></td> <td>2</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>H12</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>H13</td> <td></td> <td>22</td> <td></td> <td>14</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>H14</td> <td></td> <td>54</td> <td>0</td> <td>12</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>13</td> <td>117</td> <td>3</td> <td>33</td> <td>166</td> </tr> </table> <p>[費用の変化] ○硬質な岩石の発生により、22%程度増額になる見込みである。</p> <p>[効果の変化] ○事業の効果に変化はない</p> <p>[費用対効果] 採択時：効果算定を実施していない。 前回再評価時： // 今回B/C： 2.42 採択条件B/C=1.0以上</p>	年度	主伐	間伐	植栽	下刈等	計	H10	3	29	1	2	35	H11	9	5		2	16	H12	1	7	2	3	13	H13		22		14	36	H14		54	0	12	66	計	13	117	3	33	166	<p>3 コスト縮減や代替案立案等の可能性の観点</p> <p>[コスト縮減の可能性] ○掘削残土の現場内処理とL型擁壁などの経済的工法を採用し、コスト縮減を図る。</p> <p>[代替案立案の可能性] ○なし</p>
項目	H10再評価時	今回評価時	差																																																																												
延長	11.4km	11.4km	0																																																																												
幅員	4.0m	4.0m	0																																																																												
事業費	1,560百万円	1,900百万円	増 340百万円																																																																												
事業期間	H3～H17	H3～H20	3年間延長																																																																												
	面積ha	蓄積 m³																																																																													
前回評価時	942	149,304																																																																													
今回評価時	942	156,202																																																																													
差	0	6,898																																																																													
年度	主伐	間伐	植栽	下刈等	計																																																																										
H10	3	29	1	2	35																																																																										
H11	9	5		2	16																																																																										
H12	1	7	2	3	13																																																																										
H13		22		14	36																																																																										
H14		54	0	12	66																																																																										
計	13	117	3	33	166																																																																										
再評価の結果		対応方針(案)及びその理由		公共事業評価専門委員会の意見																																																																											
<p>継続 ・ 中止</p>		<p>[対応方針(案)] 全体計画を見直し、平成20年度の完成を図る。</p> <p>[理由] 適切な森林整備の基盤としてのみならず、両町を連絡し山村の活性化にも重要な役割を果たすことから継続して実施する。</p>																																																																													